

令和 6 年度 生涯学習・社会教育関係課の組織再編等について

1 組織再編の目的

平成 27 年度組織改編以降の社会状況を踏まえた諸課題（社会的包摂の実現、地域と学校の連携強化など）に対応するため、社会教育と学校教育の連帯を深めるとともに、他部局や関係機関・団体との連携が一層図られるよう、さらなる体制強化を行う。

2 組織再編について

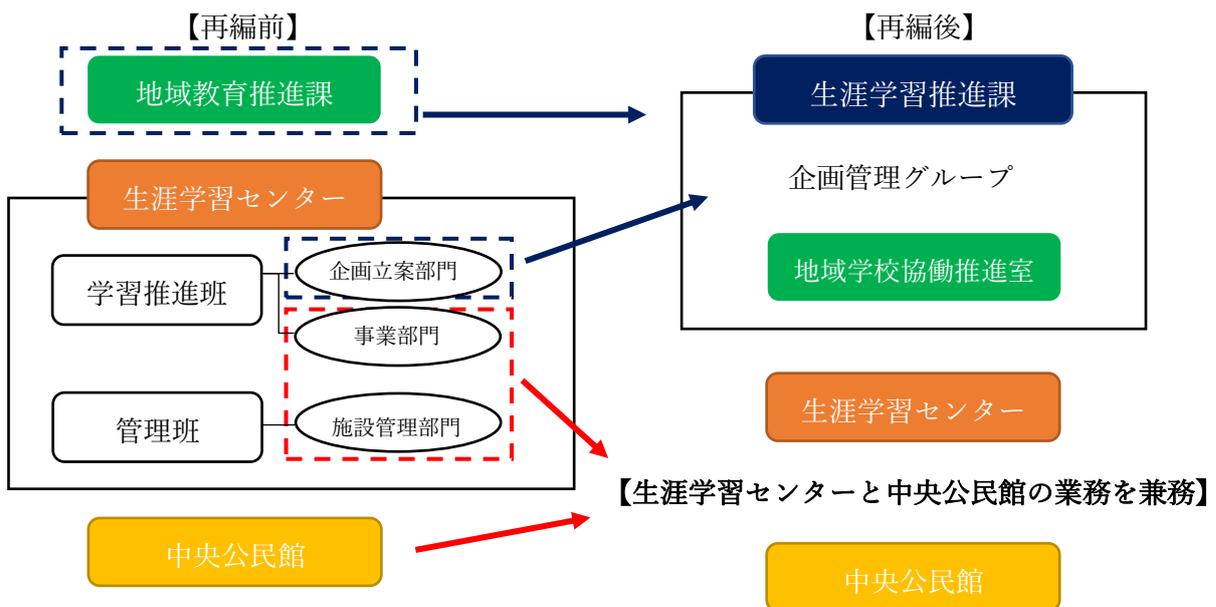
①生涯学習推進課

令和 5 年度まで設置していた「地域教育推進課」を、令和 6 年度より「生涯学習推進課」に改め、課の中に「企画管理グループ」と「地域学校協働推進室」を新たに設けた。

- ・「企画管理グループ」…これまで生涯学習センターが担当していた生涯学習や社会教育施策の企画立案部門を担う。
- ・「地域学校協働推進室」…令和 5 年度まであった「地域教育推進課」が担当していた「地域と学校や青少年に関する事業」を担う（教育総務課が担当していた「コミュニティ・スクール」も「地域学校協働推進室」が担う。）。

②生涯学習センター・中央公民館

生涯学習センターの管理部門と事業部門を中央公民館と統合(兼務)し、生涯学習・社会教育事業の実施(生涯学習ボランティアの育成・支援、家庭教育支援、市民大学等)、公民館全体の取りまとめ等を図る。
※地域教育推進課が担当していた「新潟市芸術創造村・国際青少年センター」と「入徳館」については、「中央公民館」が担当する。



【第 35 期新潟市社会教育委員会議 建議への対応表】

(※主な社会教育施設)

	子どもや若者の参画を促す ネットワーク	共生社会の実現に向けた学びの あり方と取組のネットワーク
生涯学習推進課	「コミュニティ・スクール」と「地域と学校パートナーシップ事業」の一体的推進、子どもふれあいスクール、若者支援（若者支援センター）など	学習ニーズの把握、建議内容の周知、新・教育ビジョンへの位置づけ、他部局や関係機関・団体との連携（ネットワーク化）など
生涯学習センター	高度化・個別化する学習ニーズに対応する施設運営（個人学習支援）など	高度化・個別化する学習ニーズに対応する施設運営（個人学習支援）、学習ニーズを学習機会へとつなげる情報の提供、市民の学習活動を支援するボランティア育成など
公民館	ひとづくり（青少年健全育成、担い手育成）、地域づくり（市民交流による地域環境づくり）、市民による社会教育活動の活性化を支援など	
図書館	子どもや若者の居場所づくりや学生司書などの活動の機会の提供など	読書バリアフリー推進計画に基づく読書環境の整備など

【参考】第 35 期新潟市社会教育委員会議 建議書から提言を抜粋

○子どもや若者の参画を促すネットワーク

- ・子ども・若者が参画できるアウトプット型の社会教育・社会教育貢献活動の企画とその機会・運営体制の整備
- ・子ども・若者がアウトプット型の活動を実施するための施設の確保
- ・子ども・若者がアウトプット型の活動に参加するための条件整備

○共生社会の実現に向けた学びのあり方と取組のネットワーク

- ・社会的包摂に関する内容の教育ビジョンや施策への明記
- ・学習ニーズの把握、共有と施策への反映
- ・多様な学び場、相談、交流の機会の拡充
- ・情報提供の充実、バリアフリー、多言語化
- ・公民館や各社会教育施設、多様な機関の連携、情報共有、ネットワーク化